



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月26日

上場会社名 アイカ工業株式会社
 コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 財務統括部長 (氏名) 市川 豊明

TEL 052-409-8261

四半期報告書提出予定日 平成29年11月6日

配当支払開始予定日

平成29年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	78,012	7.2	9,300	7.3	9,595	9.7	5,726	9.2
29年3月期第2四半期	72,754	4.4	8,664	20.1	8,749	14.5	5,242	13.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 7,236百万円 (268.4%) 29年3月期第2四半期 1,964百万円 (51.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	87.72	87.67
29年3月期第2四半期	80.30	80.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	169,310	123,601	70.0
29年3月期	164,634	119,685	69.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 118,531百万円 29年3月期 114,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		38.00		47.00	85.00
30年3月期		42.00			
30年3月期(予想)				48.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成29年10月26日)に公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	159,000	4.9	19,000	5.0	19,400	5.6	11,700	5.7	179.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	67,590,664 株	29年3月期	67,590,664 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	2,304,292 株	29年3月期	2,303,875 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	65,286,579 株	29年3月期2Q	65,287,304 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成29年11月21日(火)に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、米国の政策動向や東アジアの政治的緊張の影響が懸念されるなか、堅調な輸出や設備投資に支えられた企業業績の回復、および雇用環境の改善等により、緩やかながら回復基調が続きました。また、アジア・オセアニア地域の経済は、インドでは景気減速が見られたものの、中国・アセアン各国では個人消費や投資等の内需に支えられ概ね堅調に推移しました。

国内建設市場においては、低水準な住宅ローン金利や政府による住宅取得支援策等により住宅着工は概ね横ばいで推移しました。非住宅関連は、企業の設備投資やインバウンド効果によるホテルの新築・改修需要を背景に着工面積の回復が見られました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画『C&C2000』の方針に基づき、社会課題の解決に貢献する商品群の拡充、次世代を担う注力分野の育成、アジア太平洋地域における接着剤やメラミン化粧板の販売強化などを推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高78,012百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益9,300百万円（前年同四半期比7.3%増）、経常利益9,595百万円（前年同四半期比9.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,726百万円（前年同四半期比9.2%増）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。また、前連結会計年度において「建装材セグメント」「住器建材セグメント」と分けて報告していましたが、第1四半期連結会計期間より「建装建材セグメント」として統合して記載する方法に変更しております。以下の前期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(化成品セグメント)

接着剤系商品は、国内においては施工用接着剤、合板用接着剤、集成材用接着剤が好調に推移するとともに、売上を伸ばすことができました。また、海外においてもアジア太平洋地域における接着剤・産業用樹脂の需要を取り込むことができた結果、売上を伸ばすことができました。

建設樹脂系商品は、建築・土木用の補修・補強材は好調に推移しましたが、新築住宅向けの外装・内装仕上塗材「ジョリパット」が低迷したことなどから、売上が前年を下回りました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、国内太陽光市場の低迷によりホットメルトが前年を下回ったものの、化粧品や拡散材用途の有機微粒子、スマートフォン関連の電子材料、繊維・紙加工用途のアクリル・コンパウンド商品が好調に推移し、売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は39,889百万円（前年同四半期比8.8%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は3,375百万円（前年同四半期比9.7%増）となりました。

(建装建材セグメント)

メラミン化粧板は、国内においては、高い意匠性と指紋などの汚れが目立ちにくい特性をもつメラミン化粧板「セルサス」や、不燃性・施工性・意匠性において付加価値を付与した新商品の「アイカフレアテクト」や「メラタック」等が好調に売上を伸ばすことができました。また、海外においても、インドネシアやシンガポール、タイ、中国を中心に売上を伸ばすことができました。

ボード・フィルム類は、汎用的なポリエステル化粧合板や木口化粧材が医療福祉施設や大型商業施設の着工減の影響をうけたことから、売上が前年を下回りました。

メラミン不燃化粧材「セラル」は、底堅い住宅着工によるキッチンパネル用途を中心に、教育施設や店舗の改修需要や、オフィス・倉庫・工場の新築需要を獲得するとともに、駅のトイレや医療介護施設などでは「セラル消臭タイプ」の採用が拡大し、売上を伸ばすことができました。

不燃建材は、アクリル樹脂系塗装けい酸カルシウム板「ルナライト・カラー」が教育施設や医療福祉施設の需要を取り込み、売上を伸ばすことができました。

カウンター・ポストフォーム商品は、メラミン化粧板の加工品、人工大理石「コーリアン」、高級人造石「フィオレストーン」が好調に推移し、売上を伸ばすことができました。

建具・インテリア建材は、医療・介護施設に適した機能戸「U.D.（ユニバーサルデザイン）コンフォートシリーズ」や、非住宅施設向けのトイレブースが好調でしたが、住宅向けの建具シリーズが前年を下回り、ほぼ横ばいで推移しました。

このような結果、売上高は38,123百万円（前年同四半期比5.6%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は7,169百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は118,959百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,621百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が2,477百万円増加したことによるものであります。固定資産は50,351百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,054百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が1,576百万円増加したことと、無形固定資産が569百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、169,310百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,675百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は38,884百万円となり、前連結会計年度末に比べ287百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が507百万円、電子記録債務が607百万円増加したことと、未払法人税等が455百万円、賞与引当金が218百万円減少したことによるものであります。固定負債は6,825百万円となり、前連結会計年度末に比べ472百万円増加いたしました。これは主に固定負債のその他が567百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、45,709百万円となり、前連結会計年度末に比べ760百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は123,601百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,915百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益5,726百万円及び剰余金の配当3,068百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は70.0%（前連結会計年度末は69.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月26日に公表した当連結会計年度の通期の連結業績予想については、足元の国内建設市場に回復傾向がみられるとともに、コスト削減効果による原材料価格の上昇を抑えることにより、売上高及び営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見通しであることから、通期の業績予想を修正いたしました。

平成30年3月期 通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 156,000	百万円 18,600	百万円 18,800	百万円 11,400
今回修正予想(B)	159,000	19,000	19,400	11,700
増減額(B-A)	3,000	400	600	300
増減率(%)	1.9	2.2	3.2	2.6
前期実績 (平成29年3月期)	151,633	18,099	18,374	11,064

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,646	50,124
受取手形及び売掛金	50,549	50,728
商品及び製品	6,292	6,766
仕掛品	956	968
原材料及び貯蔵品	4,901	4,708
その他	5,272	5,929
貸倒引当金	△281	△267
流動資産合計	115,338	118,959
固定資産		
有形固定資産	30,024	30,071
無形固定資産		
のれん	1,318	665
その他	1,941	2,024
無形固定資産合計	3,259	2,690
投資その他の資産		
その他	16,030	17,607
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	16,012	17,589
固定資産合計	49,296	50,351
資産合計	164,634	169,310
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,541	22,049
電子記録債務	4,456	5,064
短期借入金	1,314	1,473
未払法人税等	3,255	2,799
賞与引当金	1,760	1,541
その他	6,268	5,956
流動負債合計	38,596	38,884
固定負債		
長期借入金	532	418
退職給付に係る負債	1,190	1,209
その他	4,629	5,196
固定負債合計	6,352	6,825
負債合計	44,949	45,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,271	13,271
利益剰余金	87,570	90,228
自己株式	△2,007	△2,008
株主資本合計	108,726	111,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,222	5,388
繰延ヘッジ損益	△9	0
為替換算調整勘定	1,822	1,600
退職給付に係る調整累計額	137	158
その他の包括利益累計額合計	6,172	7,148
新株予約権	36	36
非支配株主持分	4,749	5,032
純資産合計	119,685	123,601
負債純資産合計	164,634	169,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	72,754	78,012
売上原価	51,026	55,401
売上総利益	21,728	22,611
販売費及び一般管理費	13,063	13,310
営業利益	8,664	9,300
営業外収益		
受取利息	65	78
受取配当金	133	190
その他	299	336
営業外収益合計	499	605
営業外費用		
支払利息	34	30
売上割引	69	77
支払手数料	-	67
為替差損	103	-
その他	206	135
営業外費用合計	413	310
経常利益	8,749	9,595
特別損失		
固定資産売却損	334	-
特別損失合計	334	-
税金等調整前四半期純利益	8,415	9,595
法人税、住民税及び事業税	2,795	3,073
法人税等調整額	△9	191
法人税等合計	2,785	3,265
四半期純利益	5,630	6,330
非支配株主に帰属する四半期純利益	387	603
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,242	5,726

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	5,630	6,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	1,166
繰延ヘッジ損益	10	10
為替換算調整勘定	△3,760	△323
退職給付に係る調整額	21	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	32
その他の包括利益合計	△3,665	906
四半期包括利益	1,964	7,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,109	6,703
非支配株主に係る四半期包括利益	△145	533

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,415	9,595
減価償却費	1,745	1,710
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△8
賞与引当金の増減額(△は減少)	△193	△215
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	34	37
受取利息及び受取配当金	△199	△269
支払利息	34	30
売上債権の増減額(△は増加)	3,006	△317
たな卸資産の増減額(△は増加)	352	△405
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△409	△818
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,470	1,216
その他の流動負債の増減額(△は減少)	38	△178
その他	1,226	508
小計	12,574	10,885
利息及び配当金の受取額	200	271
利息の支払額	△38	△29
法人税等の支払額	△2,470	△3,427
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,265	7,700
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,414	△2,055
無形固定資産の取得による支出	△62	△84
投資有価証券の取得による支出	△209	△5
投資有価証券の売却による収入	458	439
その他	△349	△120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,579	△1,825
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	275	171
長期借入金の返済による支出	△300	△94
配当金の支払額	△1,630	△3,064
非支配株主への配当金の支払額	△313	△251
リース債務の返済による支出	△36	△28
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,006	△3,267
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,099	△129
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,580	2,477
現金及び現金同等物の期首残高	37,449	47,622
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	22	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,051	50,099

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,659	36,095	72,754	-	72,754
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,159	-	1,159	△1,159	-
計	37,818	36,095	73,914	△1,159	72,754
セグメント利益	3,076	6,776	9,853	△1,189	8,664

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,189百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,191百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,889	38,123	78,012	-	78,012
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,309	-	1,309	△1,309	-
計	41,199	38,123	79,322	△1,309	78,012
セグメント利益	3,375	7,169	10,545	△1,244	9,300

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,244百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,244百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は従来接着剤を中心とした樹脂製品を取り扱う「化成品」、主に非住宅市場で使われる建材を取り扱う「建装材」及び主に住宅市場で使われる建材を取り扱う「住器建材」と報告セグメントを分けておりましたが、用途開拓により「建装材」及び「住器建材」の市場性に大きな差がなくなってきたことからこの二つを統合し、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「化成品」、「建装建材」に区分変更することといたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

平成30年3月期 第2四半期連結決算発表参考資料

平成29年10月26日
アイカ工業株式会社
 コード番号 4206
 東証・名証（市場第一部）

1. 第2四半期連結累計期間の業績推移

（単位：百万円未満切捨）

期 別	売上高	対前年 同四半期 増減率	営業利益	対前年 同四半期 増減率	経常利益	対前年 同四半期 増減率	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	対前年 同四半期 増減率
平成26年3月期第2四半期連結累計期間	66,398	39.0%	6,502	20.5%	6,691	22.4%	3,645	17.1%
平成27年3月期第2四半期連結累計期間	68,358	3.0%	6,952	6.9%	7,343	9.7%	5,297	45.3%
平成28年3月期第2四半期連結累計期間	69,691	1.9%	7,212	3.8%	7,638	4.0%	4,608	△13.0%
平成29年3月期第2四半期連結累計期間	72,754	4.4%	8,664	20.1%	8,749	14.5%	5,242	13.7%
平成30年3月期第2四半期連結累計期間	78,012	7.2%	9,300	7.3%	9,595	9.7%	5,726	9.2%
平成30年3月期第2四半期連結累計期間 (当初予想)	75,000	3.1%	8,900	2.7%	9,000	2.9%	5,450	4.0%

2. 通期の業績推移と業績予想

（単位：百万円未満切捨）

期 別	売上高	対前 増減 率	営業利益	対前 増減 率	経常利益	対前 増減 率	親会社株主に 帰属する 当期純利益	対前 増減 率
平成26年3月期	141,096	39.2%	14,527	20.4%	14,748	16.7%	8,221	7.7%
平成27年3月期	143,843	1.9%	15,181	4.5%	15,885	7.7%	10,137	23.3%
平成28年3月期	150,061	4.3%	16,184	6.6%	16,352	2.9%	9,962	△1.7%
平成29年3月期	151,633	1.0%	18,099	11.8%	18,374	12.4%	11,064	11.1%
平成30年3月期(予想)	159,000	4.9%	19,000	5.0%	19,400	5.6%	11,700	5.7%

※30年3月期予想は今回変更しております。

3. セグメント別売上高

（単位：百万円未満切捨）

報告セグメント	平成29年3月第2四半期連結累計期間			平成30年3月第2四半期連結累計期間		
	売上高 (実績)	構成比	対前 同四半 増減 率	売上高 (実績)	構成比	対前 同四半 増減 率
化 成 品	36,659	50.4%	△1.0%	39,889	51.1%	8.8%
建 装 建 材	36,095	49.6%	10.5%	38,123	48.9%	5.6%
合 計	72,754	100.0%	4.4%	78,012	100.0%	7.2%